

2021年4月1日

報道関係各位

ファーマエッセンシア ジャパン株式会社

## ファーマエッセンシア ジャパン、会長に小松則夫氏 骨髄増殖性腫瘍研究の第一人者を代表取締役会長に迎え、 日本での事業本格化

### —ペグ化技術用い、画期的な血液領域薬剤の早期承認目指す—

アジア発のグローバル・バイオフーマ、PharmaEssentia Corporation(本社:台湾台北、創設者兼最高経営責任者 林 國鐘、以下 PharmaEssentia)の日本法人であるファーマエッセンシア ジャパン株式会社(本社:東京、代表取締役社長:米津克也、以下ファーマエッセンシア ジャパン)は、我が国における骨髄増殖性腫瘍(MPN)研究の第一人者である小松則夫氏(元順天堂大学医学部内科学血液学講座主任教授)が4月1日付けで代表取締役会長に就任したことをお知らせします。

当社は、小松則夫氏を代表取締役会長として迎え、本格的に日本での事業展開を行って参ります。“Better Science, Better Lives.”は我々がグローバルに掲げているカンパニービジョンです。より良い医療の実現で、患者さんとその家族により良い生活を提供できるよう、社員一丸となって一層努力をして参ります。

### 小松則夫より、就任にあたってのコメント

PharmaEssentia が開発した新規のペグ化インターフェロンであるロペグインターフェロンは、従来のインターフェロンと異なり、副作用が少なく、2週間に1回の投与で済むことから、日本にも早く導入し患者様のもとに一刻も早く届けたいと思っていました。

欧州では第Ⅲ相臨床試験で本剤の有用性が証明され、2019年2月に販売承認を取得しました。日本においても2017年2月にPharmaEssentiaの日本法人としてファーマエッセンシア ジャパンが設立され、現在、真性多血症や本態性血小板血症を対象にそれぞれ臨床試験が行なわれています。これらの疾患の治療目標はこれまで血栓症の予防に主眼が置かれていましたが、本剤は病気を引き起こす遺伝子変異(ドライバー変異)の量を減らすことが海外の臨床試験<sup>1),2)</sup>で報告されており、病気そのものの進行を抑制することができる、一部の患者様は治癒へと導けるのではないかと期待されています。

私はこれまで一医師として真性多血症や本態性血小板血症などの疾患に苦しんでいる患者様の診療に直接携わってきましたが、これからはファーマエッセンシア ジャパンの一員として、ロペグインターフェロンが一刻も早く患者様のもとに届けられるよう、全力を尽くす所存です。そして、今日までとは違った立場で引き続き日本の医療に貢献できることを大変うれしく思います。

1) Gisslinger H, et al. Blood. 2015; 126(15): 1762-1769

2) Gisslinger H, et al. Lancet Haematol. 2020; 7(3): e196-e208

### 【プロフィール】



小松 則夫（こまつ のりお）

1955年10月13日生

1981年3月

1986年4月

1990年3月

1992年10月

2000年4月

2004年10月

2009年8月

2021年4月

新潟大学医学部卒業

自治医科大学血液科病院助手

ニューヨーク血液センター留学(Dr. John W. Adamson 博士)

自治医科大学血液科講師

自治医科大学内科学講座血液学部門(旧血液科)助教授

山梨大学医学部血液内科教授

順天堂大学医学部内科学血液学講座主任教授

ファーマエッセンシア ジャパン株式会社 代表取締役会長に就任

<受賞歴>

2019(令和元)年度第56回ベルツ賞受賞(2等賞)

2020(令和2)年度第9回日本血液学会賞受賞

<資格>

日本内科学会認定内科医・指導医、日本血液学会血液専門医・指導医、

日本医師会認定産業医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医

<学会関係>

第81回日本血液学会学術集会会長

### 部位標的ペグ化技術について

PharmaEssentiaのコアテクノロジーは“部位標的ペグ化技術”です。ペグ化とは、ポリエチレングリコール(略称ペグ)という高分子化合物を薬剤に付加することによって分解酵素を抑制し、薬剤の効果を長時間持続させることが可能になる技術ですが、PharmaEssentiaは、そこにプロリンというアルファアミノ酸を仲介させることで、薬剤の特定部位だけにペグを付加することに成功、超長時間作用型インターフェロン製剤を誕生させました。

### PharmaEssentia Corporation について

PharmaEssentia Corporation(TPEX: 6446)は、革新的バイオ医薬品企業として飛躍的に成長しています。深い専門知識と実証された科学的原理を活用して、血液・腫瘍領域の困難な疾患に効果的な新しい生物製剤を提供することをミッションとしています。欧州ではすでに1つの製品が承認され、多様なパイプラインを有しています。2003年に台湾系アメリカ人の経営者と米国バイオテクノ

ロジック企業や製薬企業出身の著名な科学者からなるチームによって設立された同社は、現在、本社所在地である台湾に加え、米国、日本、中国、韓国で事業を展開しています。また、世界有数のバイオリジクス生産施設を台中に保有し、グローバルなプレゼンスを拡大しています。

詳細については、<https://www.pharmaessentia.com/> をご覧ください。

### ファーマエッセンシア ジャパン株式会社について

ファーマエッセンシア ジャパン株式会社は、台北に本社を置く PharmaEssentia Corporation の日本法人として 2017 年に設立されました。昨今の急速な創薬技術の発展は、多くの画期的な新規治療薬を生み出しましたが、医療現場では“真の治療ゴール”を満たしていない治療領域が未だ存在しています。ファーマエッセンシア ジャパンが目指すのは、見過ごされてきた“真の治療ゴール”の達成です。バイオアベイラビリティや忍容性の問題により、今まで十分にそのポテンシャルを発揮できなかった治療薬を、自社のコアテクノロジーである画期的なペグ化技術プラットフォームを応用して、患者さんの治療満足度の低いアンメット・メディカルニーズを満たすことを目指しています。開発中のロペグインターフェロンは“真の治療ゴール”を医療現場に提供できる可能性があるかと期待しています。

### ファーマエッセンシア ジャパン株式会社 会社概要

代表取締役社長： 米津 克也

所在地： 〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-3-13 赤坂センタービル 12 階

電話： 03-6910-5103

FAX： 03-6910-5109

URL： <https://www.pharmaessentiajapan.com>

4 月 1 日より、本社オフィスを移転しました。

<本件に関するお問い合わせ>

ファーマエッセンシア ジャパン株式会社 広報事務局(コスモ・ピーアール内)

担当： 赤尾 由美子 Akao, Yumiko

e-mail: [PharmaEssentiaJapan@cosmopr.co.jp](mailto:PharmaEssentiaJapan@cosmopr.co.jp)

ファーマエッセンシア ジャパン株式会社

担当： 天野 由貴 Amano, Yuki

e-mail: [yuki\\_amano@pharmaessentia.com](mailto:yuki_amano@pharmaessentia.com)